

## 1 ねらい

ICT機器を活用して「意見こうかん会」の中で揺さぶりをかけることで、児童が本当に自分の意見が正しいのか再考し、自分の考えをより深めることができるようにする。

## 2 活用したICTと場面

相手から出された質問や反論に対する答えを考える場面で、教師が、お互いの立場に揺さぶりをかけるような資料をICT機器により提示する。そうすることで、本当に今の立場でいいのか、問い直しをさせ、より自分の考えを深めるきっかけにすることができる。

## 3 実践の様子

児童は「意見こうかん会」の中で、動物園にいる動物が幸せであるという立場と、自然の中にいる動物が幸せであるという2つの立場に分かれて、意見交換を行った。

それぞれの立場から、意見や反論を繰り返す中で、教師がICT機器を活用し、写真や映像を見せた。例えば、荒野の中をさまよっている犬である。これは、「動物園の動物は窮屈な思いをしてかわいそうだから、自然の中で広々と暮らしたほうが幸せだ。」という意見に対しての揺さぶりである。反対に、「動物園の動物はエサも屋根もあるから幸せだ。」という意見に対しては、動物園を脱走したチンパンジーのニュースを見せた。

すると、児童は自分たちの考えをもう1度班ごとに確認をしたり、ICT機器で提示された資料をもとに反論をしたりして、より考えを深めながら、討論をすることができた。

最後のまとめの場面では、動物園にいる動物が幸せだという立場と、自然の中にいる動物が幸せだという、それぞれの立場に分かれていたにも関わらず、どちらとも言えないという立場がほとんどを占めることとなった。これは、自分の立場の意見を深めると同時に、どちらの意見にも長所と短所があることを理解することができたからであると考えられる。

## 4 成果と課題

- ICT機器活用による「揺さぶり」で、多くの面から考えた意見が児童から上がり、自分の考えを深めることができた。
- ICT機器活用により、自分の立場と意見を再確認することができ、学習への意欲が高まった。
- 揺さぶりにより、どちらの立場にするべきか考えがまとまらずに戸惑う児童もいた。



ICT機器で動物の写真を見せて、動物園や自宅のペットが本当に窮屈な思いをしているか揺さぶりをかける様子



ICT機器活用による資料の提示後意見や反論内容を再確認する児童



討論の内容を整理し、意見をまとめている様子